

奈良県では、

ヘルプマークの普及に取り組んでいます。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、配慮や援助を必要としていることが外見から分かりにくい方がいます。そうした方々が、周囲から援助が得やすくなるよう作成されたのがヘルプマークです。

ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、 声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



ヘルプカードもあります

ヘルプマーク、ヘルプカードは 住民課(役場)、 福祉課(2000年会館)で配付しています

## 元気そうに見えても…

● 座席が必要な人がいます。



2 多目的トイレの設備が必要な人がいます。



**③** ヘルプマークで知らせたいことがあります。



## ためえば…

- ט שי
- ①… 立ち続けることが難しい人がいます。
- ②… 内臓の障害などで たちくてき 多目的トイレを使う人がいます。
- ③ ・・・ 外見からは分からなくても、がようぎ しょうがい たこま などで困っている人がいます。

こんな人がヘルプマークを着けています。

